

プレスリリース

# ブルームバーグ・パヴィリオン・プロジェクト

Bloomberg Pavilion Project

2011年10月29日[土]—2012年10月上旬



Bloomberg

**M0+**  
MUSEUM CONTEMPORARY TOKYO  
OF  
ART  
東京都現代美術館

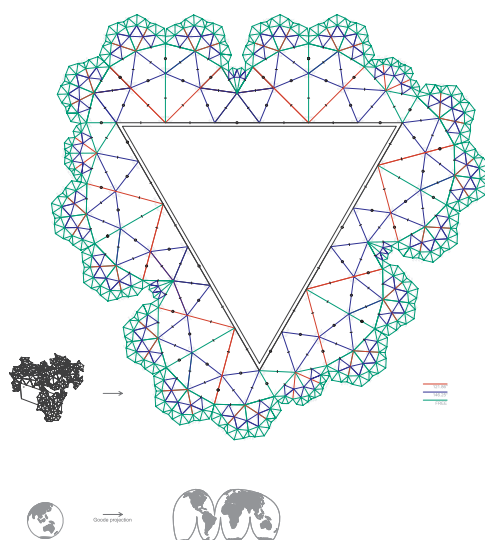
「BLOOMBERG PAVILION PROJECT」は、東京都現代美術館敷地内に建てられたパヴィリオンを舞台に、一年間に渡って東京在住の若手アーティストの個展や公募展、パフォーマンス・イベントを開催していくプロジェクトです。パヴィリオンのデザインは、国内外で注目を集める若手建築家平田晃久。美術館のメインエントランスのすぐ横に、MOTの新しいシンボルとして生まれます。この建築の未来を切り開く空間を舞台に、若手アーティストにチャレンジの場を提供し、東京のアート・シーンの活性化を目指します。

本プロジェクトは、展覧会「MOTアニュアル」や作品の収集活動を通じて未来をにう若手アーティストを育ててきた東京都現代美術館と、世界各地で社会奉仕事業を継続的に行い、アートをはじめとする文化活動を数多く支援している金融情報プロバイダー、ブルームバーグとが2007年より実施してきた若手作家支援とアートへのアクセシビリティの向上を目的とするコラボレーションの第2弾となります。パヴィリオンで展開するすべてのプログラムは無料で、どなたにでも楽しんでいただけます。

2011年10月、新しい才能を発信するMOTの新しいアートスペースが誕生します。



パヴィリオン完成イメージ(内観)



展開ダイアグラム

一本の樹木のようなパヴィリオンをつくりたいと思った。

樹木はシンボリックな形をしている。と同時に、木陰のような、人間にとって快適な空間をつくりだしている。たとえば、壁が上に向かってどんどん成長し、もこもこした「ひだ」のような連続面をつくったらどうなるか。「ひだ」はちょうど樹木のように広がって光を受け、明るい印象的な外観をつくりだすだろう。またこの面によってその下には、ちょうど木陰のように少し落ち着いた、展示空間にふさわしい質を持った場所ができるだろう。

ひだ状の面は、とても単純な方法でつくられている。ハイプレインと呼ばれる同じ二等辺三角形を組み合わせるだけで、一定の割合でたわんだひだ状の連続面ができるのだ。ここでは、単純な反復が、有機的なまとまりを生み出している。ちょうど樹木というまとまりが、光合成に有利な単純な枝分かれの反復でできているように。

建築にとって自然とは、あるいは単純さとは何か。この小さなパヴィリオンはそういう大きな問いを、私たちの未来に投げかけている。

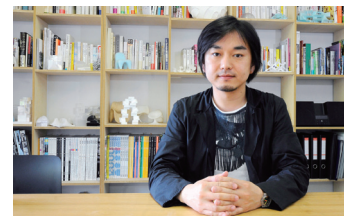
平田晃久

建築家

2011年 現在

東北大学特任准教授(せんだいスクール・オブ・デザイン非常勤講師)

京都大学、東京大学、東京理科大学、UCLAなどにて非常勤講師



#### 受賞歴

|      |                |
|------|----------------|
| 1971 | 大阪府に生まれる       |
| 1994 | 京都大学工学部建築学科卒業  |
| 1997 | 京都大学大学院工学研究科修了 |
| 1997 | 伊東豊雄建築設計事務所    |
| 2005 | 平田晃久建築設計事務所設立  |

|      |                                                                                             |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2011 | Kaohsiung Maritime Cultural & Popular Music Center International Competition 二等 (foam form) |
| 2010 | グッドデザイン賞(alp)                                                                               |
| 2009 | ELLE DECO「Young Japanese Design Talent 2009」(animated knot)                                 |
| 2008 | 第19回2007JIA新人賞(樹屋本店)                                                                        |
| 2006 | SDレビュー入選(House S)                                                                           |
| 2004 | SDレビュー朝倉賞(House H)                                                                          |
| 2003 | 安中環境アートフォーラム国際コンペ佳作一等                                                                       |

ブルームバークは世界で最も信頼性の高い金融・ビジネス情報を提供しています。ブルームバークの基幹ビジネスである「ブルームバークプロフェッショナル®サービス」では、ひとつのプラットフォーム上で、あらゆるアセットクラスの情報を網羅し、独自の分析ツールとユニークなコミュニケーション機能を提供しています。また、世界146支局2,300名以上の編集スタッフを擁する世界最大のニュース配信ソースとして、様々なメディアを通じてコンテンツを配信しています。

1981年設立、ニューヨークに本社を置くブルームバークは、現在、世界72カ国202のオフィスを持ち、13,000人以上の従業員を擁しています。

ブルームバークでは、独自の社会貢献プログラムを通じて、教育、医療、社会福祉、文化芸術、環境問題など、世界の様々な慈善事業や非営利団体の活動を支援しています。

[公式HP] [www.bloomberg.co.jp](http://www.bloomberg.co.jp)

「ブルームバーグ・パヴィリオン・プロジェクト」では1年間に渡り、9つのプログラムを開催します。

1 | 狩野哲郎 10月29日(土)―11月27日(日)

私たちが思っている「自然」と、たとえば鳥にとっての「自然」は同じでしょうか。狩野は既製品をもちいたインスタレーションに鳥を招き入れ、新たな自然を設計するように時空の可能性を押し広げます。

2 | 蓮沼執太 12月10日(土)―2012年1月15日(日)

音楽のあり方についての問いを投げかけるとともに、それらを通したコミュニケーションの新しい可能性を示唆し、世界の豊かさを知る新しい価値観を提案していきます。今回の展示では、複数のスピーカーとプロジェクターを使用した新作を出品予定。

3 | Qosmo × テクノ手芸部 2012年2月4日(土)―3月4日(日)

徳井直生、澤井妙治、アレキサンダー・リーダーによるデザインエンジニアリング・オフィスQosmo(コズモ)のメディアインスタレーションと、テクノ手芸部による電子工作と手芸を組み合わせたワークショップ+展示を行います。

4 | 小林史子 2012年3月24日(土)―4月22日(日)

展示場所やその周辺で集めた家具や自転車などと、作家自身が制作中にその場で消費した日用品とを大胆に組み合わせ、自分と空間との関係性を視覚化したインスタレーションを発表してきた小林史子。実験的な建築空間と対峙した新作を発表します。

5 | カンパニー・デラシネラ パフォーマンス 2012年5月6日(日)

近年、物語性ゆたかな身体表現を展開しているカンパニー・デラシネラ。MOTの実験的スペースを舞台に、境界線を越えたパフォーマンスを上演します。

6 | 毛利悠子 2012年5月19日(土)―6月17日(日)

システムエラーするコンピューター、楽器やサボテンから電磁波など、無機物も有機物も可視なものも不可視なものも繋がり合奏をはじめ、賑やかな機械仕掛けの空間を展開してきた毛利悠子。パヴィリオンが巨大な生命体に変貌します。

7 | なんばしすたーず 2012年7月14日(土)―7月29日(日)

なんばしすたーずの南波圭と南波早は、実の姉妹で演劇づくりをしています。

10歳年齢が離れているのを長所と短所に、小さな家族の話を展開中。会期中には上演の他、色々な人と出会うべく演劇ワークショップも行います。

8 | 公募展(展示部門) 2012年8月11日(土)―9月9日(日)

MOTブルームバーグ/ハウス・プロジェクト(仮称)

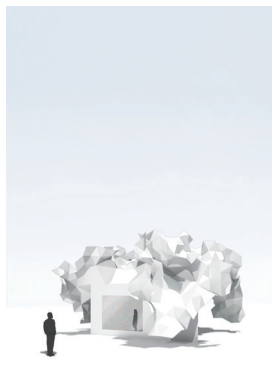
特徴あるパヴィリオン空間を活かした作品の展示プランを公募します。グランプリに選ばれた1名のプランは2012年夏にパヴィリオンで実現。約4週間、公開されます。応募資格は、日本在住の20代までの作家。平面・立体・映像などジャンルは不問。今後、リリースされる応募要項をご覧ください。

9 | 公募展(メディア・パフォーマンス部門) 2012年9月下旬予定

MOTブルームバーグ/10ミニッツ・メディアプレゼンテーション(仮称)

メディアテクノロジーを用いた魅力あるプレゼンテーション(インスタレーション・パフォーマンス・デバイス・アプリ・ライブセッション・ネットプロジェクトなど)を公募します。プランは10分以内のプレゼンテーションとして2012年秋に公開審査・発表の予定です。(公募対象=日本在住の20代を含む作家・グループ) 今後の公募情報をご参照の上、ふるってご参加ください。





1 | パヴィリオン完成  
イメージ(外観)



2 | パヴィリオン完成イメージ(内観)



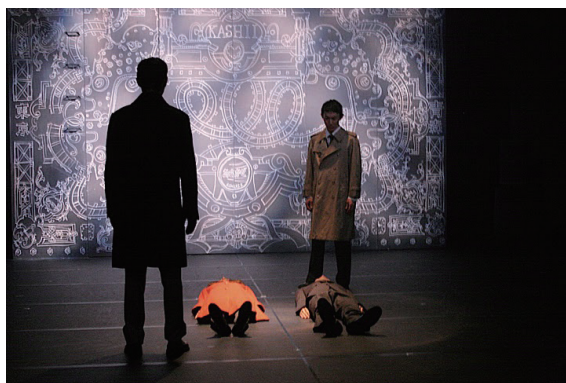
3 | パヴィリオン完成  
イメージ(夜景)



4 | なんばしすたーず  
《私たちは姉妹》2010年4月



5 | ©2011 Qosmo Inc. / ©2011 テクノ手芸部



6 | カンパニー・デラシネラ《点と線》  
photo:Takaki Sudo



7 | 毛利悠子《エブリデイラオス》2010年  
(ギャラリー 20202 写真:松尾宇人)



8 | 蓮沼執太《無題》2010年  
SPECTACLE IN THE FARMでの展示風景



9 | 小林史子《Traveling・No Return》2009年  
ラムダプリント(アクリルマウント)



[会期]

2011年10月29日(土)―2012年10月上旬

[休館日]

月曜日、年末年始 ※その他美術館の休館日・展示替え期間の日程に準じます。  
詳細はHPをご確認ください。

[時間]

10:00-18:00

[主催]

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

[協賛]

ブルームバーグL.P.

[観覧料]

無料(どなたでも自由にご覧頂けます)

[東京都現代美術館]

〒135-0022 江東区三好4-1-1 (半蔵門線清澄白河駅B2出口から徒歩9分)

03-5245-4111(代表)

03-5777-8600 (ハローダイヤル)

[www.mot-art-museum.jp](http://www.mot-art-museum.jp)

[広報お問い合わせ先]

東京都現代美術館 広報班

TEL: 03-5245-1134 (直通)

FAX: 03-5245-1141

小原久実子 [k-ohara@mot-art.jp](mailto:k-ohara@mot-art.jp)

野口玲子 [r-noguchi@mot-art.jp](mailto:r-noguchi@mot-art.jp)

## [第1弾] 狩野哲郎展

10月29日[土]—11月27日[日]

パヴィリオン・プロジェクトの第一弾は、動植物などの制御不可能な存在を内包するインスタレーションで注目を集める狩野哲郎の展示です。 周辺の鳥をパヴィリオンに呼び込むインスタレーションにより、パヴィリオンを美術館と周囲の環境とをつなぐ空間としてとらえる試みを行います。

私たちが思っている「自然」と、たとえば鳥にとっての「自然」は同じでしょうか。狩野は人間のために作られた既製品を空間に配置し、その中に鳥を招き入れます。鳥にとってその場所は美術作品ではなく、偶然あらわれた遊び場や休憩所のようなもので広い世界の一部のはずです。木場公園の中に建つ現代美術館は、美術を鑑賞する場という機能を持つと同時に、鳥たちの生活環境の一部でもあり、外側の環境と地続きの存在です。このたびの展示で狩野は、美術館の敷地に一時的に出現するパヴィリオンを鳥のための大きな巣箱に仕立てます。流れる時間も感じるスケールも人間とは異なる鳥のために設計された空間は、私たち人間にとってもまた新しい知覚が促されるポジティブな空間であり、そこで私たちは「自然」あるいは「美術」という枠組みの外側に広がる無限の可能性に気づかされるでしょう。狩野が自然の設計と称しておこなうインスタレーションは、まるで空間に描かれたドローイングのように静かに強く私たちの前に立ち現れます。

1980年仙台市生まれ。

東京造形大学造形学部デザイン学科(環境デザイン/都市環境コース)卒業

同大学院造形研究科(美術研究領域修士課程/絵画コース)修了

SEOKSU ART PROJECT(韓国)や国際芸術センター青森(青森)など、

国内外の多くのレジデンス・プログラムで滞在しながらインスタレーションを制作している。



10 | Tetsuro Kano, Naturplan (2010), installation, dimensions variable, Courtesy the artist



11 | Tetsuro Kano, Moving gardens (2010), Courtesy the artist

FAX.03-5245-1141

## ブルームバーク・パヴィリオン・プロジェクト

本プロジェクト広報用として作品写真13枚をご用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、ファクス又はEメールにてお申込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

① キャプションは、作家名、作品名、制作年、撮影者等を必ず表記ください。

② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。

本展記事を紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為にゲラ刷り、掲載誌(紙)、DVD、CD等をお送りください。

媒体名

○印をつけてください

|    |                      |          |
|----|----------------------|----------|
| 種別 | TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー | 発売・放送予定日 |
|    | ネット媒体 携帯媒体 その他       |          |

御社名

御担当者名

Eメールアドレス

@

(〒      -      )

住所

電話番号

FAX

図版番号    ご希望の図版番号に/をつけてください | パヴィリオンの外観写真は10月下旬にお貸出し可能になります。

- |                             |                                                                                        |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1  | パヴィリオン完成イメージ(外観)                                                                       |
| <input type="checkbox"/> 2  | パヴィリオン完成イメージ(内観)                                                                       |
| <input type="checkbox"/> 3  | パヴィリオン完成イメージ(夜景)                                                                       |
| <input type="checkbox"/> 4  | なんばしすたーず《私たちは姉妹》2010年4月                                                                |
| <input type="checkbox"/> 5  | ©2011 Qosmo Inc. / ©2011 テクノ手芸部                                                        |
| <input type="checkbox"/> 6  | カンパニー・デラシネラ《点と線》photo:Takaki Sudo                                                      |
| <input type="checkbox"/> 7  | 毛利悠子《エブリデイラオス》2010年    ギャラリー 20202    写真:松尾宇人                                          |
| <input type="checkbox"/> 8  | 蓮沼執太《無題》2010年 SPECTACLE IN THE FARMでの展示風景                                              |
| <input type="checkbox"/> 9  | 小林史子《Traveling No Return》2009年    ラムダプリント(アクリルマウント)                                    |
| <input type="checkbox"/> 10 | Tetsuro Kano, Naturplan (2010), installation, dimensions variable, Courtesy the artist |
| <input type="checkbox"/> 11 | Tetsuro Kano, Moving gardens (2010), Courtesy the artist                               |

広報お問い合わせ先:

事業企画課企画係広報班    小原    k-ohara@mot-art.jp / 野口    r-noguchi@mot-art.jp

江東区三好 4-1-1 (木場公園内) TEL.03-5245-1134 (直通) / FAX.03-5245-1141